

被災地に向けて いま、わたしたちに できること



みんなで自分にできることに取り組むことが、被災地に向けた地域全体の思いやりになると思います。被災された方々が1日でも早く元の生活に戻るよう、自分や家族にできることを考え、実践していきたいです。

あかざわ ひろはる
赤澤 寛治さん
まいか
舞香ちゃん
もえか
萌香ちゃん



大変な状況にもかかわらず、子どもたちが元気に前を向いている姿をテレビで見て、逆にこちらが勇気をもらっています。多くの人々の善意で集まった義援金が、少しでも被災者の方々のためになることを祈っています。

みやざわ みや
宮澤 美弥さん

金箱

ペットボトルに水をためたり、懐中電灯を玄関に用意していると、日頃から災害に備えることの大切さを実感します。被災された方々のためにも、多くの犠牲者がでてしまったことを教訓にしなければと思います。

はぎお とむ
萩尾 斗武さん
せりざわ ゆう
芹澤 悠紀さん



被災地で必要とされる物資は場所や時期によって異なるので、正確な情報の集約と配信がとても重要だと思います。刻々と変化する被災地の状況にあった、息の長い支援を自分たちなりに続けていこうと考えています。

おぐま としゆき
小熊 俊行さん
あさみ
麻美さん
いっ
一翔くん
しゅう
土結くん

節電を心がける、買いためをしない、募金に協力するなど、自分にできることを考えながら実行しています。一人一人が被災された方々に対して、支援の気持ちを行動に移すことが、復興への近道になると信じています。

すがわ かおり
須川 香さん



東日本大震災に見舞われ、甚大な被害を受けられました皆様に関心からお見舞いを申し上げます。また、亡くなられた皆様のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様へ哀悼の意を表します。

蕨市議会



3月定例会において23年度予算 9件を含む全28件を原案可決

3月定例会は、2月24日から3月23日までの28日間の会期で開催されました。

今定例会では、初日に蕨市公共施設再整備再配置調査研究特別委員会委員長より継続審査に対する委員長報告、議長より須賀敬史氏の議員辞職及び委員会所属変更の報告、市長より施政方針表明がそれぞれ行われました。

平成23年度一般会計予算をはじめとする提出議案に対する質疑は3日間をかけて行い、14人から発言通告のあった一般質問は、東日本大震災への対応を考慮し、蕨市議会として行わないこととしました。

最終日には、審議された請願2件・陳情1件のうち請願を1件採択し、委員会提出議案を含む全議案を原案どおり可決して閉会しました。

平成23年度予算総額は413億1千311万6千円に

平成23年度予算は一般会計216億3千万円、特別会計152億7千万円、企業会計44億1千311万6千円の原案どおり可決され、総額で413億1千311万6千円となりました。

予算編成にあたっては、限られた財源の中で、施策の優先順位付けを行い、市民の安全・安心な暮らしに重点を置くと共に、「わらび地域力発揮プラン」に関する施策に着手しています。

また、平成22年度に引き続き、「学校耐震化事業」や「きめ細かな交付金事業」、「住民生活に光をそそぐ交付金事業」などと共に、平成22年度補正予算と平成23年度予算を一体化して、切れ目のない景気対策を実施していくこととしています。

◆安全・安心な暮らし

誰もが安心できる防犯対策として、地球環境への負荷が少ないLED照明による防犯灯設置を進めると共に、緊急雇用創出基金事業として自転車盗難等防犯対策、夜間特別防犯パトロール及び駅前放置自転車等対策強化事業を引き続き実施します。

◆「わらび地域力発揮プラン」関連施策

くるる1階の多目的スペースに「わらびネットワークステーション」を開設し、市民団体やNPO等への支援の拠点として活用を図るほか、市民参画・協働にかかる条例制定に向けた懇談会の設置や研修の実施など、市民と行政が心を通い合わせ、協働する環境づくりを図っていきます。

◆教育環境の整備

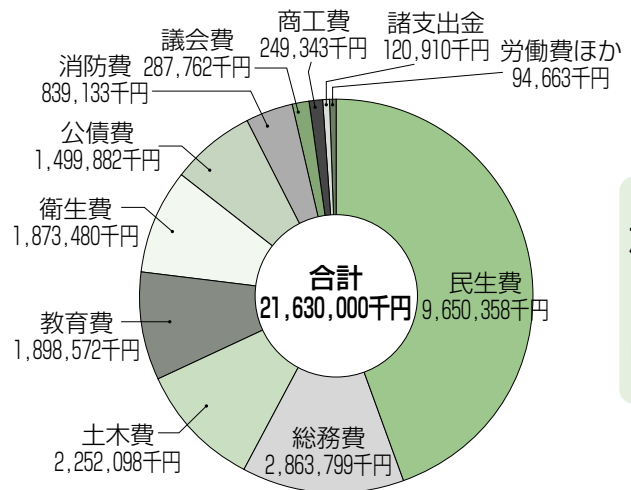
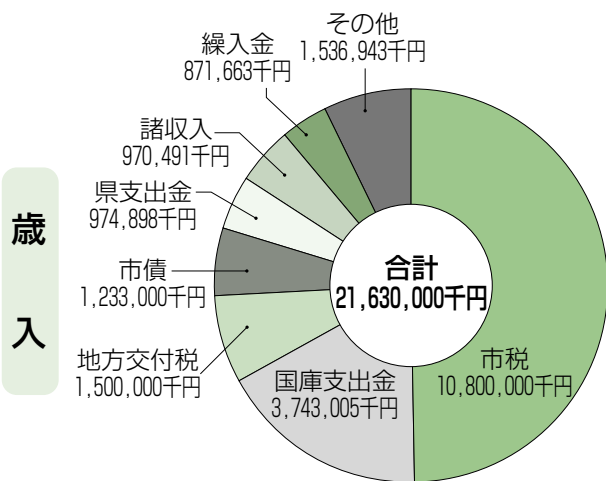
昨年夏の猛暑を受け、小学校全校の普通教室及び特別教室、計139室にエアコンを設置します。また、耐震補強事業において4校の体育館の耐震設計委託と5校の体育館の耐震診断を実施します。さらに、35人程度学級を小学校5学年まで拡大すると共に、特別支援教育支援員も7人から9人へ拡充を図ります。



エアコン以外にも冷水機を増設

平成23年度一般会計予算は 過去最大規模216億3,000万円に

平成23年度一般会計 歳入・歳出予算内訳（前年度比 +14億8,500万円）



国庫支出金：前年度比 +8億1,936万6,000円
 地方交付税： // +5億5,000万円
 市 税： // -1億

**大幅な増減のあった
予算科目**

民生費：前年度比 +12億 647万7,000円
 教育費： // +1億2,709万5,000円
 総務費： // +1億2,602万4,000円

◆障害者支援
 障害者の一時預かりや送迎等を行う団体への障害者生活サポート事業補助金を新たに計上したほか、難病患者への生活支援として、ホームヘルプに加えてシヨートステイの提供や日常生活用具の給付などの居宅生活支援にも新たに取組みます。



緊急サポート事業で子育て中の保護者を支援

◆子育て支援
 子どもが病気になった時の預かり先の紹介などを行う緊急サポート事業を新たに始めるほか、臨時職員で募集する保育士の一部を保健師または看護師とし、市立保育園全5園に配置を図ります。さらに待機児童の解消に向けて、くるる2階に開設する民間保育所への委託料及び補助金を計上しました。

◆元気な商店街・元気な蔵づくり
 商店街の街路灯電気料の補助金を増額すると共に、防犯カメラやAEDの設置などを進めるための商店街活性化事業費補助金を計上しました。中小企業支援としては、小口事業資金融資等利子補給金制度や住宅改修資金助成制度等を継続して実施し、市内経済の活性化を図ります。

◆健康な暮らし
 従来の予防接種に加え、子宮頸がんワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン及び高齢者肺炎球菌ワクチンの接種に対する助成事業を新たに予算化しました。また、人間ドック、30歳代を対象とした個別健康診査や健康教育事業、がん検診、国民健康保険被保険者の特定保健指導など、各施策に係る予算措置を講じました。

◆生活保護支援
 生活困窮者の面接相談体制として引き続き相談員の配置を、被保護者の自立及び求職活動への相談や事務量増加への対応には、引き続き自立支援相談員及び事務補助員の配置を実施します。



要援護者の個別支援に活用

◆災害への備え
 75歳以上の単身世帯及び75歳以上のみの世帯等の情報を集約し、個々の要援護者の避難支援プランを策定するためのシステムを導入します。地図情報にもリンクすることで、要援護者の世帯位置の把握も容易に行えます。

◆生涯学習環境の整備
 公民館等での生涯学習環境やその成果発表の場の環境を整備するために、中央公民館のパソコンルーム機器や東公民館の音響機材、図書館の書架等の備品を購入します。

**平成22年度補正予算
による事業について**

平成22年度予算についても、10件の補正予算案が提案され、原案どおり可決されました。